

令和7年度 施設関係者評価表

幼保連携型認定こども園 若宮こども園

1. 本園の教育・保育目標

丈夫な体・豊かな心

- ☆ 自然の中で生き生きと、目を輝かせて遊び、健康な体づくりと良好な友だち関係を築く。
- ☆ 温かく家庭的な雰囲気の中で教育・保育し、情緒の安定を図ると共に一人ひとりの個性や意欲を伸ばす。

2. 本年度に取り組む重点事項

- ☆ 子どもが主体的に取り組めるような行事にしていく。
- ☆ 各クラスのおもちゃの設定の仕方なども整えていく。
- ☆ 0歳児、1歳児、2歳児は育児担当制で丁寧な関わりをしていく。
- ☆ 3歳児、4歳児、5歳児は主体的な教育・保育につながるようにしていく。
- ☆ 子ども一人ひとりの気持ちを大切にしていって関わりをしていく。
- ☆ 保護者支援として、保護者からの困りごと等を聞き安心して子育てができる様にしていく。

3. 評価項目の達成及び取り組み内容

	評価項目	園評価	施設関係者評価
1	若宮こども園全体の雰囲気は明るく活気がありますか。	A	A
2	若宮こども園の教育活動について共感できますか。	A	A
3	若宮こども園の教育・保育目標を理解し、保護者・来園者に分かりやすく説明できますか。	B	B
4	若宮こども園では、子ども達が主体的に活動していますか。	A	A
5	子育て支援事業は、充実していますか。	A	A

6	遊具、玩具、手作りおもちゃ、絵本等が整備されていますか。	B	A
7	園内や園庭の清掃などの環境整備が行き届いていますか。	A	A
8	園児は楽しく園生活を送っていますか。	A	A
9	園児は、行事に生き生きと取り組んでいますか。	A	A
10	保育教諭は、地域の方に対して社会人として常識ある言動で接していますか。	A	A
11	こども園と地域との連携が取れていますか。	A	A
12	子どもたちが安全に生活できるよう、安全・安心・防災・防犯に対する取り組みを十分に行っていますか。	A	A

★評価につきましては、A・B・Cでお願いします。

A・・・達成されている

B・・・取り組んでいるがまだ不十分

C・・・全くできていない

4. 総合的なご意見

【自治会長】

・大瀬町東自治会の敬老会の集いにも参加していただき、地域の方々も大変喜んでいただきました。近隣への散歩でのかわいらしい姿や声をたくさん聞かせて頂いています。

【外部講師】

・5歳児と教育活動（習字）にて関わらせて頂いておりますが、子ども達一人ひとりが明るく元気に園生活を楽しめている様子が伺われます。教育活動にも意欲的に取り組める姿勢が見られます。子ども達の方から声を掛けてきてくれるのがとても嬉しいです。

【保護者】

・子どもの主体性を大切にのびのびと育てていただいています。日中、子どもが起きている長い時間、最も一緒に過ごして下さっているのが先生方です。親よりも多くの会話や遊びういしてくれていると感じています。その中でも一人ひとりの特性を大切に向き合い成長を促していただいています。成長や喜びは親と共有してくれ私たちの励みとなっています。園内の整理整頓も行われており、誤飲等についても注意してくれていると思います。以上児となると整理が自分自身でも出来るように指導されており、成長にも繋がっています。

・園全体は明るく子ども達は生き生きとしていると感じます。行事を見ている、どのクラスも一生懸命行っている姿がみられます。先生方は、子ども達の様子をよく見てくれており、相談、報告して頂いています。子ども達は、おもちゃや遊具などに満足し、楽しく遊んでいます。

・先生方が子どもの気持ちに寄り添いながら関わってくださっているおかげで、園での生活を楽しんでいる様子が伝わってきます。保護者への共有も丁寧で、信頼してお任せできる園だと感じています。

【保育施設関係者】

- ・一人ひとりと丁寧に関わることが出来るように心がけている。
- ・保護者からの相談にも誠意をもって対応することができた。
- ・担当制で丁寧な関わりを意識している。
- ・保護者とコミュニケーションを取り、情報を共有し安心して子育てが出来るようにした。
- ・園全体の雰囲気も明るく、子ども達が主体的にのびのびと生活する姿が見られて良いと感じる。
- ・子どもの主体性を大切に教育・保育活動を行えるように行事や日々の活動の見直しをし、新たな形が構築されはじめている。
- ・子どもだけでなく保育者の主体性も大切にし（共主体）、若宮こども園らしい、若宮の良い所を残しつつ、よりよい園作りをしていけると良い。（遊具や玩具なども修繕や整理、年齢や発達に合った物など、現状に満足せず見直しや更新が必要だと思う。
- ・子ども達は笑顔で楽しく過ごしている。
- ・子ども達がやりたいということに対して、気持ちに寄り添い、見守ったり、一緒に行い主体性を大事にしている。
- ・子ども達が主体的に取り組めるように、環境整備を心掛けている。
- ・子ども達の気持ちに寄り添い、安心して生活が送れるように努力している。
- ・子ども達が自分の好きな遊び、やってみたい遊びを選んでやれている。やりたいことを保育者に伝える事もでき、室内遊びは特に充実していた。
- ・園庭遊びは、滑って転びやすく、怪我につながる事や場所の制限、物の制限があり、環境が整っているとはいえない。

【園長】

・教育・保育活動では子どもが主体的に取り組めるように、環境整備なども考えてやった。運動会は体育遊びの講師の先生にも一緒に参加してもらったり、発表会は音楽遊びの講師の先生たちと一緒に楽しんで参加していた。日々の保育中でも、特に以上児は子ども同士で話し合ったりして、内容を決め補足部分は保育教諭が助言したりして計画をたてていた。子ども主体の保育が年々出来ているように思う。保護者からの育児に関する相談なども、丁寧に相談にのり信頼関係をつくれるようにしてきた。